

令和2年2月3日

第3回八尾翠翔高等学校運営協議会（報告）

協議委員（4名）の参加をいただき、本校教職員（4名）が同席し協議を行った。主な質疑等については、以下の通りである。

① 令和元年度学校教育自己診断アンケート結果より

学校生活に対する満足度について、1年生は昨年度よりも高くなっている。2年生は毎年のことではあるが中だるみ状態といえる。一方3年生は高いスコアを示しており、3年次での高スコアは、本校の特徴の一つでもある。学力や社会人基礎力など、目に見える形で自己の成長が生徒に認識されてくる時期に合わせて、評価が高くなっていると考えられる。また特質すべき特徴として、行事やホームルーム活動への満足度が大きく上昇している点もあげられる。

【意見・提言】

- ・アンケート項目の中の「学習時間の確保」があまり振るわないのは気になる。プリント中心の授業では、答えを書き込むことが目的となる結果、内容把握のみならず、考え方や答えに至る道筋といったところにまで意識がいかないのではないか。
- ・教科書等、本で学習する習慣が今の高校生には少ないようだ。教科書を読み込むことで、生徒自身が授業を再現したり、全体像を把握できたりする。
- ・「いじめはない」ということであるが、素晴らしいことである。

② 来年度学校経営計画について

この新入生から「教職トライコース」が発足する。2年次より科目「教職講義」など、教員としての資質を育てる授業が用意されることになる。また、生徒がもっと「入ってよかった」と思える学校にしていくと同時に、ICT機器の充実や海外語学研修旅行の開催、行事面での工夫も行っていく。また今年以上に、生徒が地域に出かけて様々な活動ができるように計画したい。

【意見・提言】

- ・大学との連携においては、高校側の負担を減らすことと同時に、もっと大学側を利用してよい。
- ・文化祭などの行事をより充実させていくことや、地域連携も今年度以上によりがんばってほしい。